



公式戦の合間を縫って、シエルブルーの選手が市内の各小・中学校で自転車の交通安全教室を行っている。

小・中学校で自転車の交通安全指導を行っています。自転車の交通安全指導「車」なので、命に関わる部分があります。そういったことも子どもたちにしっかりと学んでもらいながら、ルールとマナーを守って楽しく自転車に乗ってもらいたいという思いで、各学校を訪問しています。そのおかげで子ども達から練習中に手を振ってもらったり声を掛けてもらったりすることも多く、選手たちにとっては力の源になっています。それと同時に「シエルブルーエスポワール」という小・中学生を対象としたジュニアの強化も今年度から始めており、将来のシエルブルーを担う選手の育成も目指しています。

今後は、自転車関係者が連携を深めて、南大隅高校や鹿屋体育大学、シエルブルーと、地域一体となって「自転車のピラミッド」の仕組みを創ることで、競技力の向上だけではなく、新たな地域貢献にもつながるの

富尾選手 かごしま国体は、僕が自転車をはじめた高校1年生の時から開催が決定していて、地元で戦える選手になりたくて走ってきました。そのため、一度延期にはなりませんが、これまでの成果を出せる場がやっとな場所だと感じています。

富尾選手 普通のママチャリに比べて、競技専用の自転車であるロードバイクはスピードが出るのが一番の魅力です。ただ最近では、自転車はどんなにゆつくりでもちよつとずつ前に進んでいく方がいいと感じるようになりました。きつい時もありますが、漕ぐのをやめなければ、絶対に目的の地や目標にしたいところ。に近付いていくので、そういう点も魅力だと思います。

燃ゆる感動がごしま国体 2023
特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から
特別国民体育大会 (かごしま国体)
令和5年10月7日(土)~17日(火)
特別全国障害者スポーツ大会 (かごしま大会)
令和5年10月28日(土)~30日(月)
選手の皆さんの活躍を応援しましょう!!

ではないかと信じています。

池田監督 ソフトボールは11月中旬頃からオフシーズンになるため、この時期から2月あたりまで小学生との交流やスポーツ大会でのデモンストレーションなどを行っています。12月には輝北小学校の児童との交流会も行いました。ただ、まだ交流イベントに出る機会が少ない気がする中で、例えば市外のイベントにも積極的に出ていけば私たちのことを多くの人に知ってもらえるのではないかと感じています。

国体に向けてプロとしての誇りと誓い

市長 市民にとっては、プロを直接観る機会はなかなかないわけで、レベルの高い皆さんの真剣な姿を見ることは大人から子どもまで感動を与えるのではないのでしょうか。最後になりますが、今年開催される国体に向けて、決意や想いなど皆さんの大きな夢をお聞かせください。



富尾 大地 キャプテン
令和元年よりチームに所属。脚質は、起伏のあるコースでも勝負強さを発揮できる「パンチャー」

の付きにくい身体を作っていく、できるだけ筋量を増やすといった「身体の中から変えていくこと」を実践しています。また、走ることで以上に身体のケアも大切なので、普段からセルフケアやストレッチをしたり、選手によっては頻繁にマッサージに行く人もいます。

領家選手 私たちは午後3時30分まで仕事をし、その後が練習になります。毎週月曜日が全体練習の無い日になってるので、その日は身体のケアに行ったり買い物したり、それぞれの時間を過ごしています。平日の練習は夜7~8時までで、そのあとは個人練習が主ですね。地域の方々がとても優しく、ボール拾いや個人練習をしている時によく来て話し掛けてくれるので地域に愛されているのを感じています。輝北に初めて来たときは、すごく田舎だという印象を受けましたが、市街地に出れば色々ありますし、不便はありません。店が少ない反面、星がきれいで空気も良く、朝走るにはベス



領家 妃奈 キャプテン
右投右打でポジションはレフト。逆境に強く、粘り強いプレーでチームを勝利に導く。

市長 ソフトボールと言えば、一昨年の東京オリンピックでは女子日本代表が優勝し、ソフトボールの熱も広がりとつあると思いますし、鹿屋はソフトボールのスポーツ少年団も非常に盛んな地域です。子ども目線での魅力はどうでしょうか。

市長 プロチームの皆さんには地域との触れ合いや地域貢献にも色々取り組んでいただきありがたく思っています。そういった取り組みや反響などについて教えてください。



オフシーズンには、地域の子もたちとスポーツ交流会を行い、ソフトボールの魅力を発信している。

地域に根差したプロスポーツチームを目指して

新春対談を終えて

市長 今年待ちに待ったかごしま国体・大会が9~10月にかけて開催されます。施設整備や運営ももちろんですが、我々も国体に向けてまだまだ盛り上げていきたいと思っています。

国体まであと10か月ほどですが、県民市民の期待を一心に背負っている選手の皆さんは、けがをされないよう気を付けて練習に励んでください。皆さんの国体での活躍を市民一同応援しています。また、これから「スポーツのまち かのや」を共に支えるパートナーとして、市と両チーム一丸となり取り組んでいきます。本日はお忙しい中、新春対談にご参加いただきありがとうございます。



CIEL BLEU KANOYA
平成27年に発足した地域密着型プロサイクリングチーム。チーム名の由来はフランス語で「鹿屋の蒼い空」。2022シーズンは3人の新加入選手と1人の育成選手を含む11人で闘い、チーム総合6位の好成績を収めた。



MORI ALL WAVE KANOYA
令和2年12月に設立した、輝北町を拠点に活躍する県内唯一の女子プロソフトボールチーム。令和3年より日本女子ソフトボールリーグに参戦し、同年ではリーグ初参戦・初優勝を飾る。リーグ編成が行われた今シーズンは、全国3位の好成績を収めた。現在、17人の選手が所属。